

今回は

茶道部

取材しました!

立てば芍薬 座れば牡丹
歩く姿は百合の花



書記

深澤 君平

畳の香るその部屋は部活棟の一階にある。水曜と金曜の放課後には抹茶を立てる音が和室を優美な空間に変えていく。茶釜を持つその姿は凛々しく、艶やかなものであった。

今回は茶道部をお邪魔させていただきました。茶道に敷居の高いイメージを持つていたのですが、取材をさせていただき、部員の皆さんの茶道を楽しむ姿が印象を大きく変えて下さいました。



Q 茶道部の主な活動内容は何ですか？

A 基本的には茶道特有の作法について学びます。お茶のたて方、飲み方、運び方など一重に作法と言ってもそれぞれに細かいルールが存在します。一つ一つ部員と確認しあいながら実際にお茶を楽しむのが普段の活動です。また、水曜日には講師の先生を招いて、本格的な指導の下、作法を身に付けています。



Q コロナ禍の今、どのような対策をとっていますか？

A 今まででは共同で使用していた茶釜や碗を部員それぞれに振り分ける形式に変更しました。不便なことも多いですが、部員みんな協力しています。

Q Withコロナの影響でできなくなったりした事はありますか？

A 部活が再開して暫くの間はお茶を實際にたてて練習することができない状況が続きました。その為、お茶の代わりに湯でたてて飲まずに捨てていました。また、夏休みに行っていた高校や公共施設、地域イベントなどの参加も今年は参加ができませんでした。そのためか、去年より一年生が馴染むのが遅かったと思います。

Q 茶道に対して厳格なイメージを持っている人が多いと思いますが実際どうなんですか？

A 確かにお茶も入れたり、飲んだりするときは緊張します。しかし全員いっぺんに練習するわけではなく入れ替え制で練習なので、待機中は友達と話したりして気を緩めることができます。

Q 受験勉強中の中学生にエールをお願いします！

A 受験勉強はとても辛い長い道のりです。しかし諦めたらそこで試合終了です！くじけずに頑張ってください。そしてムサキタに合格したら是非、茶道部に入部してください。私たちはいつでも和室で待っています！

